ハンドマイク街頭演説原稿例　暮らし守る緊急提案・トランプ関税

二〇二五年四月二十二日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　この四月も、いろいろなものが値上がりしました。日本共産党が取り組んでいる「要求アンケート」にも、多くの切実な声が寄せられています。みなさんからいただいた声をもとに、物価高からくらしを守る緊急提案をまとめました。一つめは、毎日の買い物にかかってくる負担、消費税を５％に引き下げることです。これで一世帯平均で年十二万円の減税になります。二つめは、物価上昇をはねのける大幅な賃上げの実現です。中小企業の賃上げに政治が支援をし、最低賃金を今すぐ時給千五百円に引き上げ、さらに千七百円をめざします。高齢者の年金も物価の値上がり以上に引き上げていきます。三つめは、私たちの暮らしを支える大切な基盤、医療や介護の現場が直面している危機の打開です。国のお金をしっかり出し、支えていきます。

　これだけのことをやるのに、財源はあるのか？　という疑問をお持ちの方もいらっしゃると思います。日本共産党は財源もしっかり提案しています。ふつうの国民や中小零細企業に比べて思いっきりひいきされている。巨大企業や超大金持ちの方々に、そのもうけに応じた税金をしっかり負担していただきます。また、他の国を攻撃するような武器や装備ばかり大幅に増やすことをやめれば、その分のお金を私たちのくらしのために使えます。これらの緊急提案の実現へ、日本共産党は全力でがんばります。日本共産党へのご支援をよろしくお願いいたします。

　さてみなさん、いま「トランプ関税」が大きな問題となっています。アメリカが中心になって進めてきた自由貿易体制を、そのアメリカがぶちこわすという、あまりに自分勝手な行動です。世界各国から、さらにはアメリカ国内からも、厳しい批判の声が上がっています。日本共産党は、これら諸外国と力を合わせ、「トランプ関税」をやめさせるために日本政府も力をつくすことを、強く求めます。

　ところで石破総理の態度はどうでしょうか。日本の経済、国民生活に深刻な影響をもたらす大問題にもかかわらず、アメリカに対しては「遺憾だ」とは言うものの、はっきりやめろとは言いません。アメリカの言うことをハイハイと受け入れるばかり、言うべきことも言えないような日米関係を続けて、いいのでしょうか。日本共産党は、こんないびつな関係から抜け出し、対等平等の新しい日米関係をつくるため、がんばります。

　みなさん、今年の夏には参議院選挙が行われます。衆議院に続いて、今度は参議院でも与党を少数に追い込み、国民の切実な願いを実現するチャンスです。そのためにも、日本共産党を大きくすることがどうしても必要です。日本共産党は政党を選ぶ比例代表で、はたやま和也・元衆議院議員を含む五議席の獲得、定数四の埼玉選挙区で現職の伊藤岳参議院議員の再選をかちとるため、全力で頑張ります。日本共産党と伊藤岳に、みなさんのお力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）